

保健婦だより

『市民健康づくりの集い』を終えて

現代社会は、運動不足と栄養摂取過剰のアンバランスの時代。社会の複雑化とストレスの時代と言われ、めざましい医学の進歩にもかかわらず、様々な病気をひきおこしております。

市ではそのようなことを考えた中で、昨年十二月に、昭和五十六年度市民健康づくりの集いを開催

いたしました。

『みんなで守ろう、わが家の健康』をテーマに約四百人が講演会健康相談コーナー・検診コーナー・塩分濃度測定・展示会等の催しに積極的に参加しました。

講演会は、県精神衛生センターの田中孝雄所長が「お酒の上手な飲み方」と題し、健康とアルコール

学校整備費寄付者に

紺綬褒章

このたび、都留市の小中学校施設整備のために、多額の浄財を寄付された方々に対し、国から紺綬

褒章が授与されました。

一月十九日、市役所において市長から伝達され、関係者が立ち合

いそのご篤志を顕彰しました。

紺綬褒章受章者は、つぎの八名の方々です。

(敬称略)
奥秋彦之(横浜市在住) 宝小学校
図書購入費として五百
万円を寄付。
木生第二小学校設備整
備費として百万円を寄
付。

都倉松子
滝川力三
渡辺栄一
田原勝代
小林義光
奥秋恵次
都留第一中学校屋内運
動場設備整備費として
百万円を寄付。



の関係を、また、女子栄養大学講師の東畑朝子氏が「高血圧の人の食事」についてを、一家の台所をあずかる主婦に大変わかりやすく講演してくれました。

ここ数年、市民の健康づくりに対する認識の向上は、このような催しへの積極的な参加や、成人病総合検診の受診率の向上からもうかがえます。最近、健康に対する多くの情報で自分の健康は自分で守らなければならないという考え方は強まり、住民自らが主導権を握り、健康問題を考えている市や町もあります。

健康は今や医療従事者に任せしておく問題ではなくなってきたようです。

市においても、このような健康づくりの集いを通して、市民の皆様が健康を保持、増進できるよう計画しております。一人でも多くの方が参加されて、健康生活を送るためのカギを手に入れてください。

歴史資料展と廃品更正展

東桂小学校は、大正元年十月十七日に現在地に境・夏狩・鹿留・十日市場の四小学校と、大野分校場を統合し創立してから、昭和五十六年がちょうど創立七十周年目にあたります。この間の卒業生は八、三九五人に及んでいます。

学校と同小PTAは、創立七十周年を記念する記念事業を計画し記念誌の出版をはじめ、いくつかの記念事業を実施してきました。

一月三十日、三十一日の両日、愛郷学堂で開かれた歴史資料展、廃品更正展もその一環として行なわれた老人のものです。展示された歴史資料は、一五〇点余りに及び、その中には第一回卒業生の卒業記念写真や、第一回運動会の写真、当時唯一の交通機関で、学校の前を走っていた富士馬車鉄道の軌道写真、大正十五年愛郷学堂を建設寄付した、神戸第一の竣工式当日の挨拶文や、昭和六年三枝彦太郎代議士を通じて贈られた、当時の内閣総理大臣犬養毅の書等があり、参観者は千人を超え、老人の参観者も数多く懐かしい歴史資料に当時を思いだしながら、興味深げに見入っていました。

また、廃品更正展は六十一年来いじ国体に向けて、児童の環境美化意識の高揚と、物を大切にすることを育てる為に企画されたものです。空き缶・ビン・ポリ容器・段ボ



ール等の不用品を活用して、冬季休業中に親子のふれ合いを通して製定されたものです。独創性に富んだ作品が七百点余り出品展示されました。

固定資産課税台帳の

縦覧期間が変更

地方税法改正の関係で、二月末日までに課税標準が決まらないため、固定資産課税台帳の縦覧期間が昭和五十七年に限り、次のよう

に変更になりましたのでお知らせいたします。(縦覧場所は従来どおり市役所税務課です)
縦覧期間
四月一日(木)～四月二十日(火)
時間は午前八時三十分～午後五時。土曜日は正午まで。
(日曜・祭日を除く)